

# ヘッジファンドセレクション (ラップ向け)

追加型投信／内外／資産複合／特殊型 (絶対収益追求型)

作成対象期間：2023年2月7日～2024年2月5日

第7期決算日：2024年2月5日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざした運用を行っております。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る場合があります。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

### 第7期末 (2024年2月5日)

基準価額	9,706円
純資産総額	7,822百万円
騰落率	-0.2%
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufug.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
ホームページ <https://www.am.mufug.jp/>

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第7期：2023年2月7日～2024年2月5日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第7期首	9,728円
------	--------

第7期末	9,706円
------	--------

既払分配金	0円
-------	----

騰落率	-0.2%
-----	-------

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の下落となりました。

## ▶ 基準価額の主な変動要因

### 下落要因

組入を行った投資信託証券のうち、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション」などがマイナスに影響しました。

2023年2月7日～2024年2月5日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	71	0.735	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(63)	(0.658)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(4)	(0.044)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.012	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(0)	(0.001)	
（先物・オプション）	(1)	(0.011)	
(c) その他費用	38	0.396	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.003)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(37)	(0.390)	信託事務の処理等に要するその他諸費用（株式信用取引に要する品貸料、配当調整金の支払い等）
合計	110	1.143	

期中の平均基準価額は、9,607円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

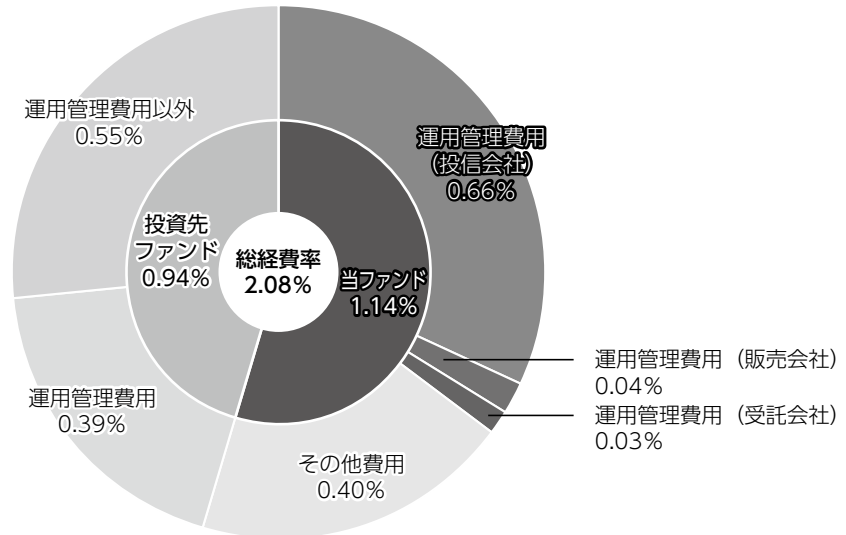
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.08%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.08
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.14
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.39
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.55

- (注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。  
 (注) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注) 投資先ファンドの費用の内訳は、投資先運用会社の判断に基づいたものです。  
 (注) 投資先ファンドの費用は、成功報酬を含む場合があります。  
 (注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。  
 (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2019年2月5日～2024年2月5日

## 最近5年間の基準価額等の推移について



## 最近5年間の年間騰落率

	2019/2/5 期初	2020/2/5 決算日	2021/2/5 決算日	2022/2/7 決算日	2023/2/6 決算日	2024/2/5 決算日
基準価額 (円)	9,964	9,911	10,223	10,086	9,728	9,706
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	-0.5	3.1	-1.3	-3.5	-0.2
純資産総額 (百万円)	7,343	7,048	10,889	16,224	18,777	7,822

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

## ▶ 投資環境について

### ▶ 株式市況

日本を含む先進国の株式市況は、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ継続への懸念や、欧米における金融システム不安などから下落する局面があったものの、米国での2024年以降の利下げが示唆されたことなどを背景に、上昇しました。新興国の株式市況は概ね上昇しました。

### ▶ 債券市況

海外先進国の債券市況は、米長期金利などが上昇したものの、債券利子収入を獲得したことなどがプラスとなり、上昇しました。国内の債券市況は下落しましたが、新興国の債券市況は概ね上昇しました。

### ▶ オルタナティブ

海外先進国の不動産投資信託（REIT）市況は、主要中銀が高い金利水準を長期間維持するとの見方などを背景に、米国金利の上昇局面などで下落しました。国内REIT市況は上昇しました。コモディティ価格はまちまちとなりました。原油価格は、米国や中国の景気が減速し原油需要が伸び悩むとの懸念が強まったことなどから下落しました。一方、金価格は、中東の地政学リスクの高まりなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから上昇しました。

### ▶ 為替

為替市場では、米ドルは、米国の金融引き締め長期化観測が広がった局面で日本との金融政策の方向性の違いが意識されたことなどから上昇しました。ユーロも対円で上昇しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産に実質的な投資を行います。

投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

このような方針を踏まえ、2023年5月に以下のとおり、ファンドの組入比率の変更を行いました。

収益性向上を狙い、「日本株マーケットニュートラル・マザーファンド」のウェイトを引き上げ、「先進国ロング・ショート戦略マザーファンド」と「MU I ジャジメンタル L / S 「バランス型」 ファンド 1 (適格機関投資家向け)」のウェイトを引き下げました。

(ご参考)

### 投資信託証券別組入比率表

投資信託証券	(%)	
	期首	期末
MU I ジャジメンタル L / S 「バランス型」 ファンド 1 (適格機関投資家向け) (※)	34.1	24.3
ペイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド・クラス B・円・アキュムレーション	30.0	29.7
先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	29.3	9.7
日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	4.8	34.6

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

(※) MU I ジャジメンタル L / S 「バリュー」 マザーファンド、MU I ジャジメンタル L / S 「インフラ資源」 マザーファンド、MU I ジャジメンタル L / S 「テック」 マザーファンドの各マザーファンドへの投資を行います。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。



## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第7期 2023年2月7日～2024年2月5日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	267

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざします。

投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。  
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。  
(2023年10月1日)

## ▶ その他

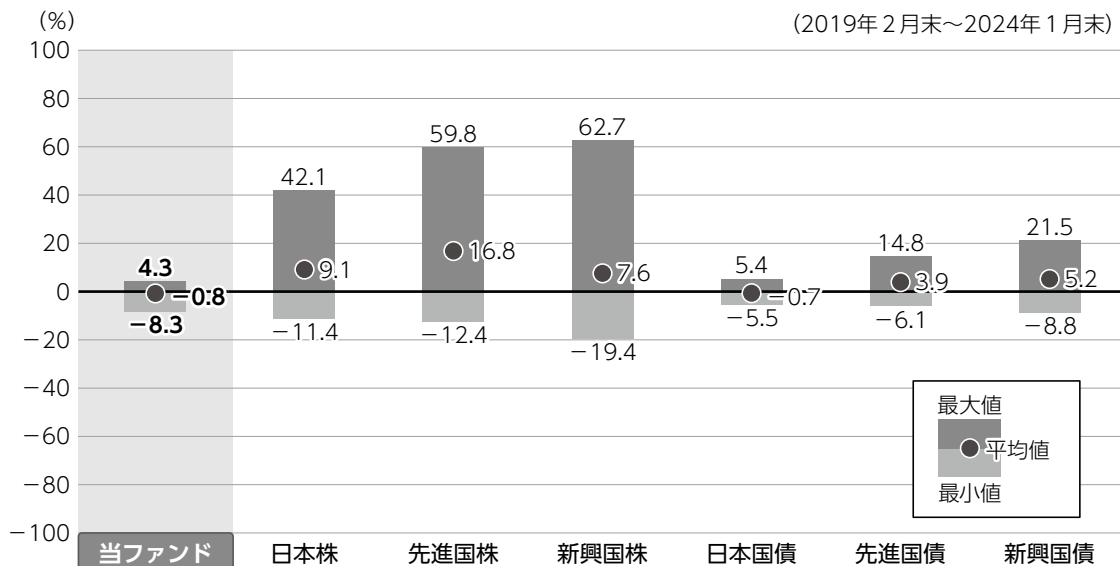
- ・該当事項はありません。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。  
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合／特殊型（絶対収益追求型）
信託期間	2027年2月5日まで（2017年3月27日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産に実質的な投資を行います。 投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、各投資信託証券の組入比率は適宜見直しを行います。 投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行う場合があります。 投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、三菱UFJ信託銀行の投資助言に基づき決定します。
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界の株式、債券およびデリバティブ等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、特定の市場に左右されることなく収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2019年2月から2024年1月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2024年2月5日現在

## 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：4銘柄)

ファンド名	第7期末 2024年2月5日
日本株マーケットニュートラル・マザーファンド	34.6%
ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドークラスB・円・アキュムレーション	29.7%
MU I ジャジメンタルL/S 「バランス型」ファンド1 (適格機関投資家向け)	24.3%
先進国ロング・ショート戦略マザーファンド	9.7%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

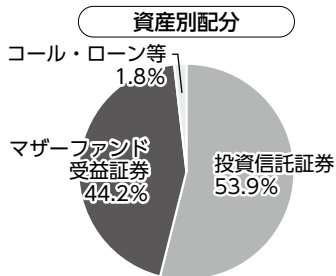
※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

### 純資産等

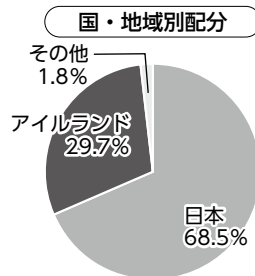
項目	第7期末 2024年2月5日
純資産総額 (円)	7,822,755,634
受益権口数 (口)	8,059,578,245
1万口当たり基準価額 (円)	9,706

※当期中において追加設定元本は1,957,215,794円  
同解約元本は13,200,715,889円です。

### 種別構成等

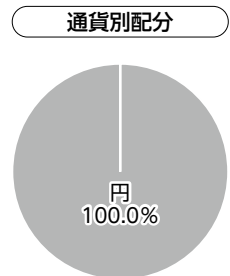


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。



968434

2023年8月24日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ 日本株マーケットニュートラル・マザーファンド

## 基準価額の推移

2023年2月24日～2023年8月24日



## 1万口当たりの費用明細

2023年2月25日～2023年8月24日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)
(b)その他費用 (その他)	226 (226)	1.489 (1.489)
合計	226	1.490

期中の平均基準価額は、15,204円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

## 組入上位10銘柄 (ロングポジション)

(組入銘柄数：318銘柄)

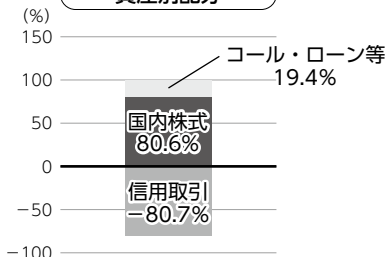
	銘柄	種類	国・地域	業種/種別	比率(%)
1	日本製鉄	株式	日本	鉄鋼	0.6
2	豊田通商	株式	日本	卸売業	0.6
3	住友林業	株式	日本	建設業	0.6
4	鹿島建設	株式	日本	建設業	0.6
5	SUMCO	株式	日本	金属製品	0.6
6	NIPPON EXPRESSホールディングス	株式	日本	陸運業	0.6
7	住友商事	株式	日本	卸売業	0.6
8	日本ゼオン	株式	日本	化学	0.6
9	TOYO TIRE	株式	日本	ゴム製品	0.5
10	クラレ	株式	日本	化学	0.5

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 ※原則、国・地域については法人登録地を表示しています。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

## 種別構成等

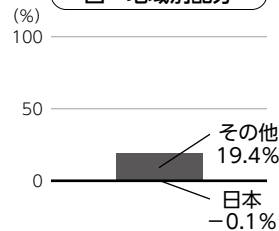
## 資産別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
 構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については法人登録地を表示しています。

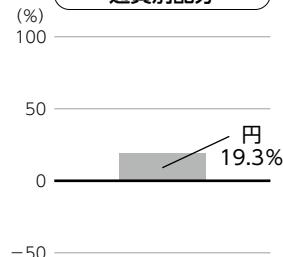
## 国・地域別配分



※国・地域別配分と通貨別配分は、ロングポジションとショートポジションを相殺したネットポジションにて表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

## 通貨別配分



2022年9月30日現在

## 組入上位ファンドの概要

### ▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド・クラスB・円・アキュムレーション

#### 基準価額の推移

2021年9月30日～2022年9月30日



基準価額以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド」ベースで表示しています。

#### 1万口当たりの費用明細

2021年10月1日～2022年9月30日

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示できません。

### ▶ ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンド

#### 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：73銘柄)

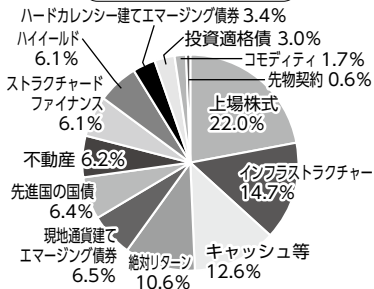
	銘柄	種別	比率(%)
1	Baillie Gifford Emerging Markets Bond Fund - Class C Gross Acc	債券	6.5
2	Fair Oaks Loan Funding I DAC	債券	4.1
3	Aspect Ucits Funds PLC-Aspect Core Ucits Fund	株式	3.5
4	Baillie Gifford Emerging Markets Leading Companies - Class C Acc	株式	3.1
5	Baillie Gifford Worldwide Global Strategic Bond Fund - Class C Acc USD	債券	3.0
6	Blackrock Global Funds - Asian High Yield Bond Fund	債券	2.9
7	Stratus Capital II Dac 0.00% 04/05/2026	債券	2.8
8	Ensemble Investment Corp SA 28/07/2026	債券	2.8
9	Baillie Gifford Worldwide Sustainable Emerging Markets Bond Fund - Class C USD	債券	2.5
10	Credit Suisse International 23/12/2022	債券	2.3

※比率はベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドの純資産総額に対する割合です。グロスポジション（証券およびデリバティブ）

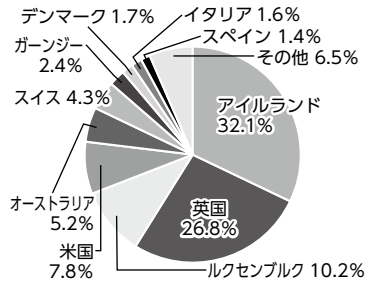
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## 種別構成等

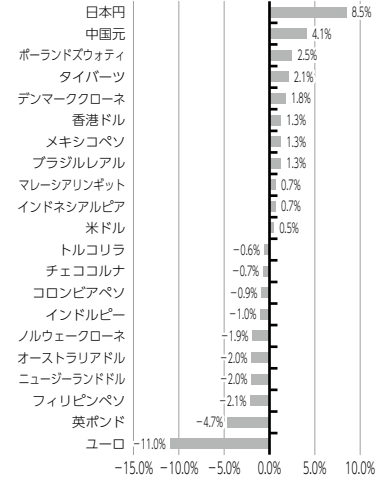
資産別配分



国別配分



通貨別配分



※資産別配分（エクスポージャー）は、株式指数先物及び国債先物のショートポジション、ボラティリティ指数（VIX）先物のロングポジションを保有しています。

※国別配分（エクスポージャー）は、上位10カ国を表示。その他等には未分類を含みます。

※通貨別配分（ネット通貨エクスポージャー）は、+/-0.5%を超える相対通貨ポジションを表示しています。

※組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、ベイリー・ギフォード・ワールドワイド・ダイバーシファイド・リターン・円ファンドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものであり、運用報告書（全体版）とは異なる場合があります。

2023年8月25日現在

## 組入上位ファンドの概要

## ▶ MU I ジャジメンタルL/S 「バランス型」 ファンド1（適格機関投資家向け）

## 基準価額の推移

2022年8月25日～2023年8月25日



## 組入ファンド

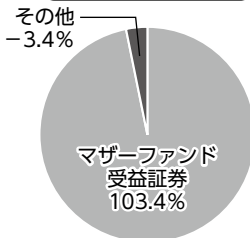
(組入銘柄数：3銘柄)

ファンド名	比率
MU I ジャジメンタルL/S 「テック」 マザーファンド	35.3%
MU I ジャジメンタルL/S 「インフラ資源」 マザーファンド	34.6%
MU I ジャジメンタルL/S 「バリュー」 マザーファンド	33.5%

※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

## 種別構成等

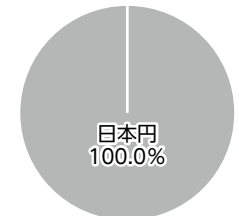
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



※比率は、純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。



## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年8月26日～2023年8月25日		
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	94	0.902	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(88)	(0.847)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	19	0.184	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(16)	(0.158)	
（先物・オプション）	(3)	(0.025)	
(c) その他費用	168	1.616	(c) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.011)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（信用取引）	(167)	(1.603)	信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品貸料等
（その他）	(0)	(0.003)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	281	2.702	

期中の平均基準価額は、10,412円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

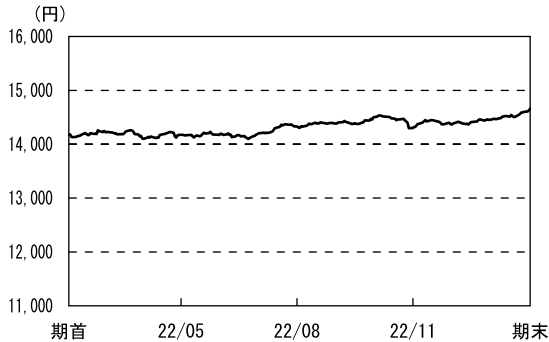
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

## 組入上位ファンドの概要

## MUI ジャズメンタルL/S「インフラ資源」マザーファンド

(2023年2月15日現在)

## 基準価額の推移



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：129銘柄)

	銘柄	セクター	比率
1	出光興産	石油・石炭製品	2.1%
2	マキタ	機械	1.9%
3	住友電気工業	非鉄金属	1.6%
4	住友商事	卸売業	1.3%
5	名古屋鉄道	陸運業	1.2%
6	グローリー	機械	1.2%
7	ミスミグループ本社	卸売業	1.2%
8	京成電鉄	陸運業	1.2%
9	電源開発	電気・ガス業	1.2%
10	三菱商事	卸売業	1.2%

・比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年2月16日～2023年2月15日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	64円 ( 64)	0.447% (0.447)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (信用取引)	249 (249)	1.737 (1.737)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品賃料等
合計	313	2.184	
期中の平均基準価額は、14,322円です。			

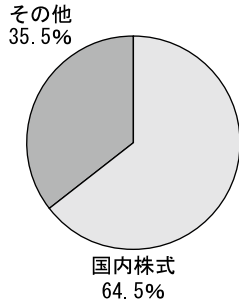
(注) 1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

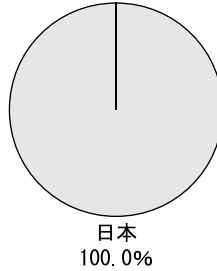
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 種別構成等

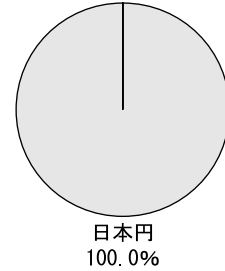
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



※比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

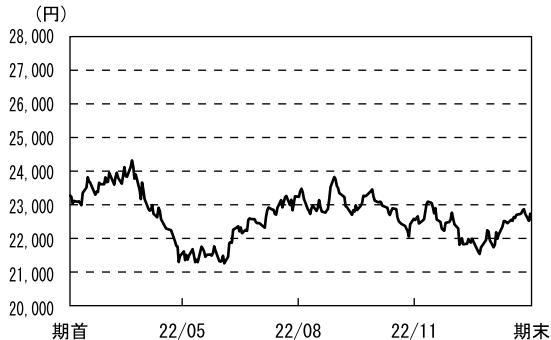
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 組入上位ファンドの概要

## MUIジャジメンタルL/S「パリュール」マザーファンド

(2023年2月15日現在)

## 基準価額の推移



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：91銘柄)

	銘柄	セクター	比率
1	スノーピーク	その他製品	3.2%
2	SHIFT	情報・通信業	2.2%
3	日本製鉄	鉄鋼	2.2%
4	商船三井	海運業	2.0%
5	ギフトィ	情報・通信業	1.9%
6	GMOフィナンシャルゲート	情報・通信業	1.9%
7	サンワカンパニー	小売業	1.8%
8	TOKYO BASE	小売業	1.5%
9	ウエストホールディングス	建設業	1.5%
10	円谷フィールズホールディングス	卸売業	1.5%

・比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年2月16日～2023年2月15日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	64円 (53) (11)	0.281% (0.234) (0.047)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (信用取引)	522 (522)	2.294 (2.294)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品賃料等
合計	586	2.575	
期中の平均基準価額は、22,749円です。			

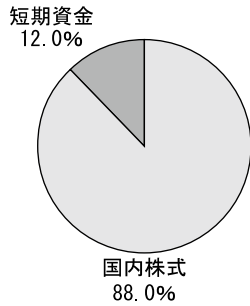
(注) 1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

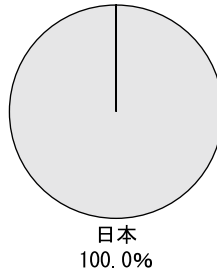
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 種別構成等

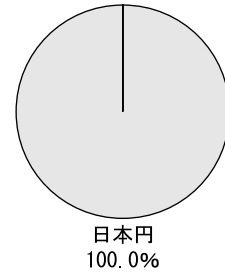
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



※比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

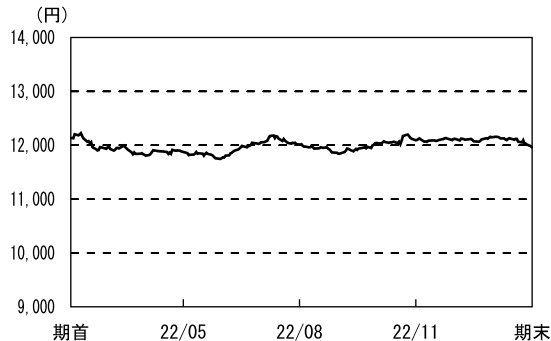
※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 組入上位ファンドの概要

## MUIジャジメンタルL/S「テック」マザーファンド

(2023年2月22日現在)

## 基準価額の推移



## 組入上位10銘柄

(組入銘柄数：63銘柄)

	銘柄	セクター	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	2.6%
2	東京エレクトロン	電気機器	2.0%
3	三菱電機	電気機器	1.9%
4	オービック	情報・通信業	1.8%
5	HOYA	精密機器	1.8%
6	インターネットイニシアティブ	情報・通信業	1.7%
7	ファナック	電気機器	1.6%
8	シマノ	輸送用機器	1.5%
9	野村総合研究所	情報・通信業	1.5%
10	小松製作所	機械	1.4%

・比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

## 1万口当たりの費用明細

(2022年2月23日～2023年2月22日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式)	4円 ( 4)	0.037% (0.037)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (信用取引)	194 (194)	1.612 (1.612)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信用取引で借りた株の配当金の未払金相当額および品賃料等
合計	198	1.649	
期中の平均基準価額は、12,011円です。			

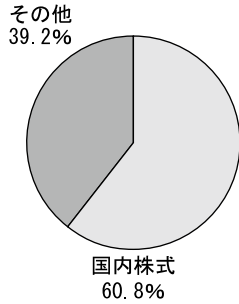
(注) 1万口当たりの費用明細は、組入ファンドの直近の決算期のものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

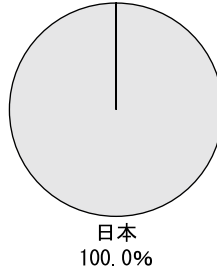
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 種別構成等

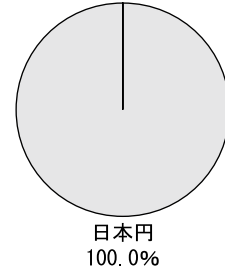
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



※比率は評価額の純資産総額に対する割合です。

※国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

※組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

※その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

# 指数に関して

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

### ● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。